

ノートルダム清心中学校

実施日：令和5年2月9日（木）14：25～15：15
講師：外務省 大臣官房 G7広島サミット事務局 次長補 大岩 玲
形式：対面
内容：講座・座談会
参加人数：講座 168名、座談会 10名

当日の様子



参加者の主な感想

- ・外国との良い関係を作るためには世界の主要国だけではなく多くの国と関係を持つことが大切だということがわかりました。
- ・これまでサミットについてあまり考える機会がなくよく理解できていませんでしたが、先生のお話を聴いて、これからの世界の環境や平和に関わる重要な会議なんだと分かりました。
- ・サミットが広島で開催される意味が今まであいまいだったので、はっきりと知ることが出来てよかったです。今の社会状況の中で1度立ち止まって考えてもらうため、という理由にとっても納得しました。
- ・外交に大切な「対話と想像力」「どの国も孤立させない」「小さな一歩」ということは、人とのコミュニケーションにおいても大切なことであり、これから意識していきたいと思いました。
- ・広島のG7サミットが成功し、平和な世界の実現に少しでも近づいてほしいです。
- ・広島でのG7サミットについて、「広島の印象が日本の印象になる」という言葉を聞いて、広島でG7サミットをやるという重みを感じました。広島や日本の魅力を伝えてサミットが大成功になったらいいな、と思いました。

- ・今回のお話で、「その国の国民に日本のファンになってもらうことで、その国にも日本のファンになってもらう」ということが特に心に残りました。
- ・外交において大切なことは「相手の行動には必ず理由があると考えること」とおっしゃっていたのが印象的でした。相手に対して理解できないことがあっても、相手の立場を想像することが重要なんだなと思いました。どんな環境でも楽しめることが大切だとおっしゃっていたことも印象的でした。いろいろなことに積極的に挑戦していきたいなと思いました。
- ・外交官の方自身の経験やお話を聴いて、もともと外国語には興味があったが、ますます話せるようになりたいと思うようになった。自分でも、もっと外国語の勉強をしようと思った。
- ・外交官は、異なる文化や未知の世界に触れたときに楽しめる心が必要、というお話を聞いて、なるほどな、と思いました。私自身、未知のものに触れたときワクワクするよりも怖い、という気持ちの方が強くなってしまっているので、私もその心を身に着けたいと思いました。
- ・英語などの第 2 言語を習得することをゴールとするのではなく、人とのコミュニケーションをとるための道具として学んでいくというのはすごく納得できました。ただ言語を学べばよいという訳ではなく、自分の人間性を高めることが大切だ、ということも分かりました。